

第 149 回 『運輸の日』

日 時 2023 年 05 月 08 日 (月) 10 : 00 ~
場 所 東神トラックステーション
行 動 者 今井 勇 (ヤマト運輸労働組合厚木支部)
数見 秀樹 (ヤマト運輸労働組合神奈川支部)
佐藤井左夫 (ヤマト運輸労働組合横浜支部)
櫻井健一郎 (SBSFS 労働組合)

嵐のような雨も、開始時間が近づくにつれ弱まり、今井委員長の願い通りにピタッと止まりました。連休明けのために駐車スペースに空きがちらほら目立っていました。

本日より、5 日間『運輸の日』を実施する予定になっています。

本日の行動者は、経験者揃い！横断幕の設営から手際がいい。

今井委員長より諸注意を含めた朝礼がされました。

運輸労連本部のアンケート調査については、携帯から簡単に答えることが出来る仕組みになっています。今週は、『運輸の日』での調査に加え、時局調査として、『4 月の時間外労働は何時間くらい？』という設問、『2024 年問題って知ってますか？』と改善基準告示の改定のチラシをドライバーの方へ。

あるドライバーさんは、「給料明細見ないとわからない。あまり気にしていない。」また、「完全歩合なのでわからない。でもこれから働けなくなったら給料減って生活できないようなら、転職も考えないと。2024 年に改定される改善基準告示への対応如何！」と心中を語っていました。



行動者の感想

5月8日10時より、東神トラックステーションにて運輸労連全国統一行動のアンケート調査を開催しました。昨夜からの大雨も9時過ぎにあがり暑くもなく寒くもなく活動しやすい初日でした。

今井、櫻井、数見、佐藤、望月書記次長の5名で、初の2次元コードによる300円相当のクオペイが貰えるアンケートの説明、4月度の時間外労働、2024年問題やドライバー不足等のアンケート調査をしました。ドライバーさんの高齢化が進み若年層が少なすぎる、また若い方々の入社がない先行きの無い業界になってしまったと答える年配のドライバーさんが多くいました。

神奈川県連では、独自の5日間を予定しておりますので5月12日までしっかりと活動します。

今井 勇 (ヤマト運輸労働組合厚木支部)

8日月曜日、連休明けの影響が午前中から駐車スペースに空きが多く物流が本格的に動いていない事を物語っています。停車しているトラックを見ると九州ナンバーが目立ちます。話を聞くと労働時間など気にしてたら九州からの物流は止まるとの声。2024年問題は分かっているが会社として対応は示されていないとの意見は多く中小企業でギリギリまで様子見のようです。大手企業は対応を始めているとの意見が大半です。人手不足についても今は足りているが高齢化が進み20代30代な人員は入らない。60歳過ぎでの長距離運行は命がけだと悲鳴のような意見です。

イベント関連のチャーター便の方は待機時間が長く拘束時間は測り知れないとの事です。

若者に振り向いてもらえる産業への道はまだまだ遠いようです。

数見 秀樹 (ヤマト運輸労働組合神奈川支部)

未明からの暴風雨で活動に支障の懸念があったが、集合時には、すっかり雨も止み行動開始。今井委員長の説明で始まり運輸労連リーフレット配布、アンケート調査を実施した。各ドライバーの回答では予想を上回る2024年問題について周知されており、会社での管理も徹底されていた。しかし、人手不足は深刻であり、入社後間もない退職者が多く、時間管理により稼げない事が要因となっている。

現場では、時短による賃金水準低下に不平、不安の声が多く挙げられた。全てのドライバーではないが、長時間労働になったとしても、給与額面に重きを置く感が強い。

全体を通して2024年問題は周知されており、会社の管理も行き届いていると感じました。

しかし、荷主による荷物の違いで、未だ残業時間が100時間を下回らない業種も存在し、かつ2024年問題を会社が取り組んでいない事も散見されており、ドライバー本人の上限規制への認知も必要です。

アンケート調査では、その場で回答しなくても良いQRコードも併用し、リーフレット配布と共にスムーズに行う事が出来ました。

櫻井健一朗 (SBS フレイトサービス労働組合)

運輸の日、組織拡大の全国統一行動として5月8日に東神トラックステーションにて活動を行いました。携帯でアンケートを回答し、謝礼として300円のクオペイを進呈するものと、簡単なアンケートをお願いし、パンフレットを配布させて頂きました。

昨日より雨が続いており、当日の天候が心配されましたが、活動前には雨が上がり一安心となりました。

参加者は望月書記次長、ヤマト神奈川・数見委員長、ヤマト厚木・今井委員長、SBS 労組・櫻井さん、ヤマト横浜・佐藤の5名で活動を行いました。

アンケート内容は

①4月の時間外労働はどれくらいでしたか？

②『2024年問題』って知ってますか？

③ドライバー不足が深刻になっていますが実感はありますか？

④運輸労連は全国に事務所がありますので、仕事上での悩みや相談事がありましたら気楽に利用してください。の4点をお伺いさせていただきました。

①では正確に把握されている方が少なく、1運行に対しての歩合であるがための時間外に対して希薄になっていると感じました。

②については皆さんが知っていて企業としても既に取り組んでいる所もあり、長中距離をやめて地場での仕事を増やすことで給与を安定させている取り組みなどもお伺いさせていただきました。

③に関しては募集しても入らない、入ってもすぐ辞めてしまう等、運輸業界の定着率への問題も浮き彫りなる回答が多数を占めていました。

今回のアンケートで2024年問題への働き手の不安や不満の解消へ向けた企業努力への課題があまりにも多く、安心・安定した職場になるよう労働者に報われる改革を行なって欲しいと思います。

佐藤井左夫（ヤマト運輸労働組合横浜支部）